



とよとみひでよし
豊臣秀吉は、どんな人だったの



おだのぶなが
織田信長の天下統一事業を引きつぎ、それを達成した、伝説の多い人だよ。

豊臣秀吉の生い立ちについては、いろいろな伝記が書かれていますが、本当のことはわかりません。信用できる史料に、^{きのしたとうきちろう}木下藤吉郎秀吉として、初めて名前が出てくるのは、1565年に織田信長が出した文書で、すでに信長の有力な部将（一部隊の大將）になっていました。信長が天下統一を進める中で、すぐれた才能を^{はつき}発揮して功績を^{こうせき}あげ、1573年に初めて城をあたえられました。

信長の死後、「^{てんかびと}天下人」の地位を手に入れた

1577年、中国地方に^{しんりやく}侵略する軍の大將に任命されました。1582年、^{びっちゅう}備中（岡山県）の^{たかまつじょう}高松城を水攻めしている最中に、信長の死を聞き、急いで引き返して、^{あけちみつひで}明智光秀をたおしました。翌年、^{よくねん}先輩の^{せんばい}柴田勝家をたおし、事実上の信長の後つぎ、日本の政治を動かす「天下人」の地位を手に入れました。

天下統一を達成し、^{ちようせん}朝鮮に出兵した

その後、四国・北陸・九州・関東・東北と支配地を広げて、天下統一を達成し、^{かたながり}検地・^{じっし}刀狩・身分制度などを実施しました。また、^{かんぱく}関白・^{だいじょうだいじん}太政大臣になり、関白をやめた後は、^{たいこう}太閤とよばれました。1592年からは、中国の支配をめざして、朝鮮に出兵しましたが、1598年に^{ふしみじょう}伏見城で亡くなりました。

人使いがうまい人だった

秀吉は、よく人をほめたそうです。ほめられた人は、いい気分になり、むずかしい仕事をおしつけられても、いやがらずにやってしまったようです。秀吉が、「人使いがうまい」といわれたのは、人の心の動きをよく読み、人の長所を見つけて、上手にほめる能力にすぐれていたことにあるようです。